

歴

史資料館だより



No.62
教育委員会生涯学習課
伝承館グループ
(☎ 0296-23-8521)

戦後七十年を考える

真壁伝承館歴史資料館では、第7回企画展として、「戦いのカタチ」を開催しています。

この企画展は、今年が第二次世界大戦の終戦から70年になることを受けて企画したもので、資料館の収蔵品や市内外の方々からお借りした、戦争・戦いに関わる品々を展示しています。ここではその中



B29 爆撃機から
投下された M69
焼夷弾

一三式艦上攻撃機のプロペラ (木製)

からいくつか代表的なものを紹介していきます。一つ目は、焼夷弾です。戦時中、日本は幾度となく空襲を受けました。展示しているものは、米軍の B 29 爆撃機から投下された M 69 焼夷弾で、木と紙でできた日本家屋が炎上しやすいよう、グリセリンなどをガソリンと混ぜて粘性のある油脂にし、鉄製の缶につめたものです。東京都豊島区の巣鴨遺跡から出土した実物です。

二つ目は、飛行機のプロペラです。これは紫尾小学校に長く保管されていたものですが、なぜ小学校にあったのかは不明です（もしご存知の方がいればぜひ教えてください！）。最初はこういう飛行機のプロペラなのかも分かりませんが、刻まれていた型番などを追加燃料タンクのこと、機体の下や翼下に取り付けられ、長時間の飛行を助ける装備です。敵と出会った時に空中で切り離して投棄するものでした。展示して



増槽 (側面には桑原さんを悼んだ詩が書かれている。)

いる資料は、旧日本軍の戦闘機、紫電に搭載されていたものです（先のプロペラとはまったく別の機体です）。昭和20年6月23日、米軍機を迎撃するために筑波海軍航空隊（笠間市）から出撃した紫電の部隊は筑波山上空付近で戦闘になりました。その際に墜落された内の1機が真壁町羽鳥の山中に墜落。その後、付近の方々の捜索により遺体が見つかり、遺品から乗っていたのは桑原安夫さんと分かりました。増槽もこの時の戦闘のものと思われ、捜索に加わっていた真壁町東山田の鈴木木家（鈴木）で70年間保管されていたものをお借りして来しました。今年には戦後70年、ということで、テレビや新聞などでも関連する番組や報道がなされています。安全保障に関する話題なども多数取り上げられており、戦争に関するものを考える機会が多くなっているのではないのでしょうか。そうした中で、今回紹介したような品々は、戦争の記憶を今に伝える貴重なものです。これらを身近で見、感じることで、出てくる機会ですので、ぜひ資料館でご覧になってください。

一人暮らしに不安を感じていらっしゃる方、お気軽にご相談下さい。介護の必要な方も訪問介護等を利用されながら生活することが出来ます。

- ・物忘れが多くなった
- ・具合が悪くなった時に心配だ
- ・食事の支度が大変だ
- ・退院した後の生活が不安だ

などの心配ごとはありませんか？

軽費老人ホーム (ケアハウス)
グリーンヴィラ

☎ 0296-55-1029
桜川市真壁町田1428



真壁消防署の交差点からつば方面1つめの信号を左折

あなたの側で、誠実に、忠実に。

株式会社 デジタル印刷
TEL 0296-54-2626 (代)
FAX 0296-54-2724
www.digital-54-2626.com